MapleSim ネットワーク版　インストール・アンインストール手順書

更新日 2026/10/30

はじめに

- バージョン 2026.2 以降、**MapleSim ユーザ**向けには 「**Maple + MapleSim 一体型インストーラ**」が提供されます。
  従来必要だった **Maple の個別インストールは不要**となり、一体型インストーラのみで Maple と MapleSim の両方、
  および各種アドオン製品をインストールできます。

- この手順書は、Windows (64bit)、macOS、Linux (64bit) 版に対応しております。

- ネットワーク版のご利用には、別途ライセンスサーバの構築が必要です。
  （Maple Network Tools のインストールガイドを参照ください。）

- この手順書の説明画面は、Windows 版のインストーラの画像を使用しています。
  他の OS、バージョンでも一部を除き同様の画面がでますので、**適宜置き換えて**ご参照ください。

- 各 OS に対する必要な手順をアイコンで示しています。アイコンの説明は以下の通りです。

  Win ・・・ Windows

  Linux ・・・ Linux

  macOS ・・・ macOS

- インストールに関する不明点や疑問点に関してはサポートまでご連絡をお願いいたします。
  https://jp.maplesoft.com/contact/webforms/support_JP.aspx

※当マニュアルに記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

◆ **SECTION 1: Maple、MapleSim、アドオン製品のインストール**
◆ **SECTION 2: Maple、MapleSim、アドオン製品のアンインストール**

◆ SECTION 1: Maple、MapleSim、アドオン製品のインストール

（****には MapleSim のバージョン名が入ります。）

Win

1. インストーラの実行ファイルを右クリックし、**[管理者として実行]** を選択して起動します。
   ・ Windows 64-bit 版インストーラ ・・・ **MapleSim****ProductWindowsX64Installer.exe**

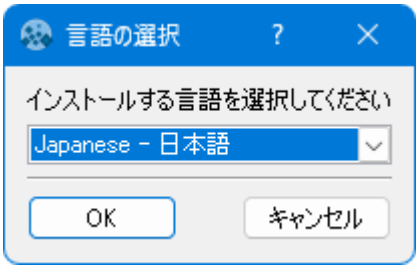
Linux

1. インストーラを実行します。
   ・ Linux 64-bit 版インストーラ ・・・ **MapleSim****ProductLinuxX64Installer.run**

macOS

1. インストーラを実行します。
   ・ macOS 版インストーラ ・・・ **MapleSim****ProductMacInstaller.dmg**

2. ファイルの解凍プロセス後に以下のダイアログが出ます。言語を選択して [OK] をクリックしてください。



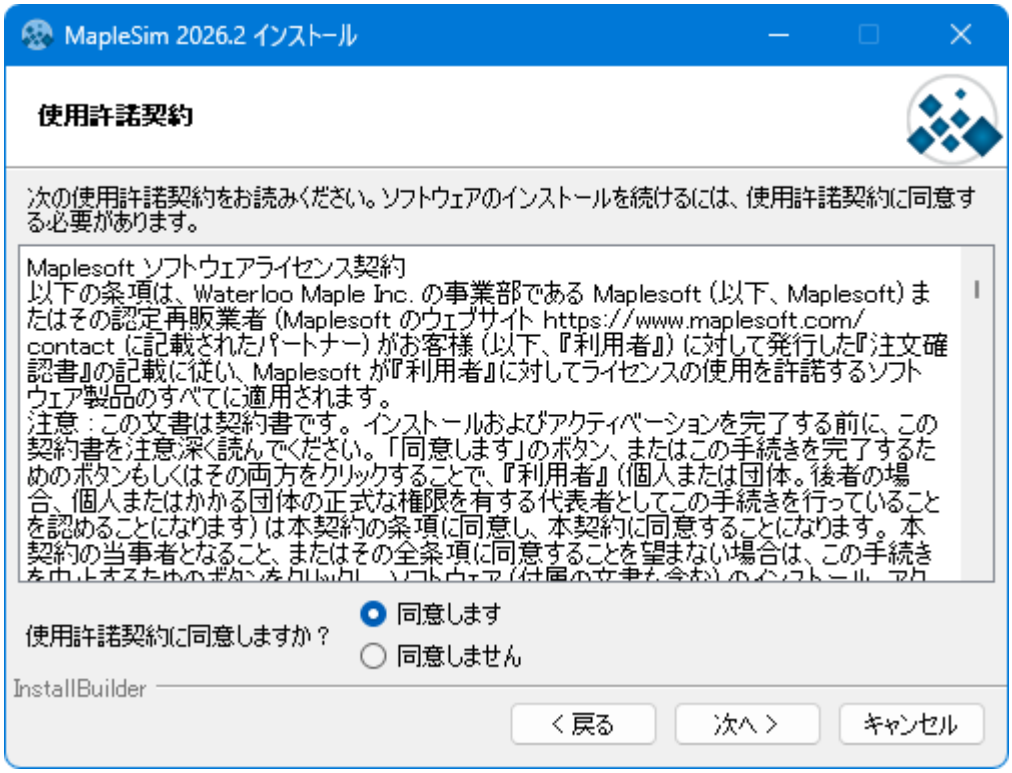
Win Linux macOS

3. [MapleSim - セットアップ] 画面が表示されましたら、[次へ] をクリックしてください。



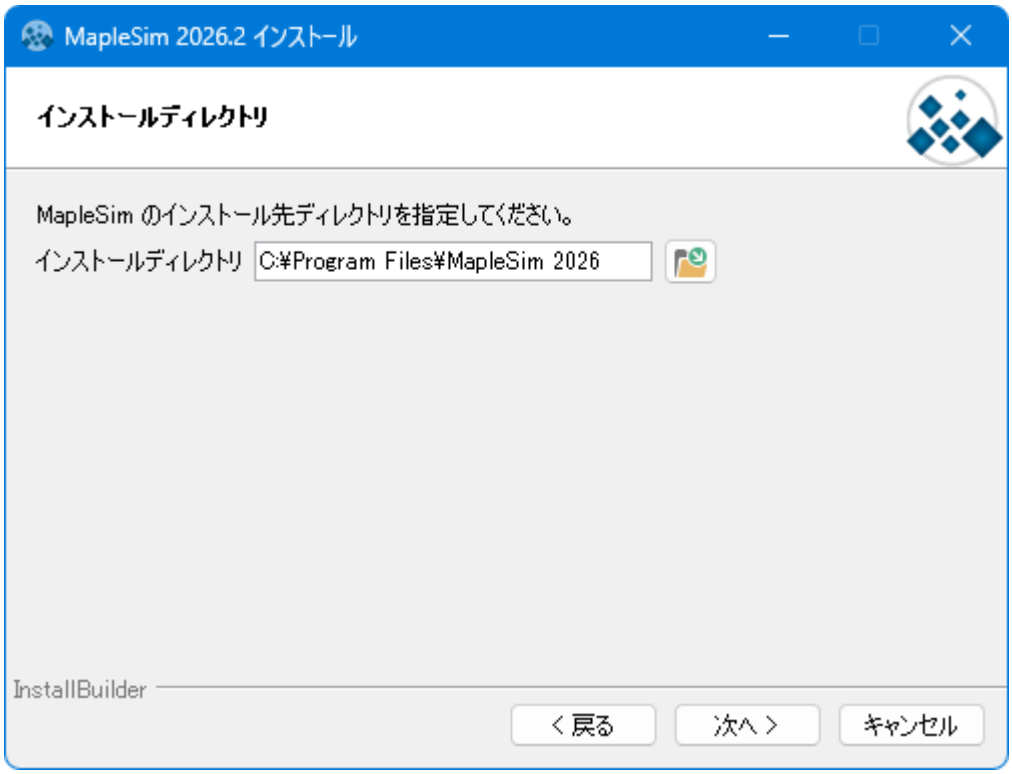
Win Linux macOS

4. 使用許諾契約をお読みいただき、[同意します] を選択し、[次へ] をクリックしてください。



Win Linux

5. インストールディレクトリを指定し、[次へ] をクリックしてください。
   ※macOSでは、インストールディレクトリを指定できません。

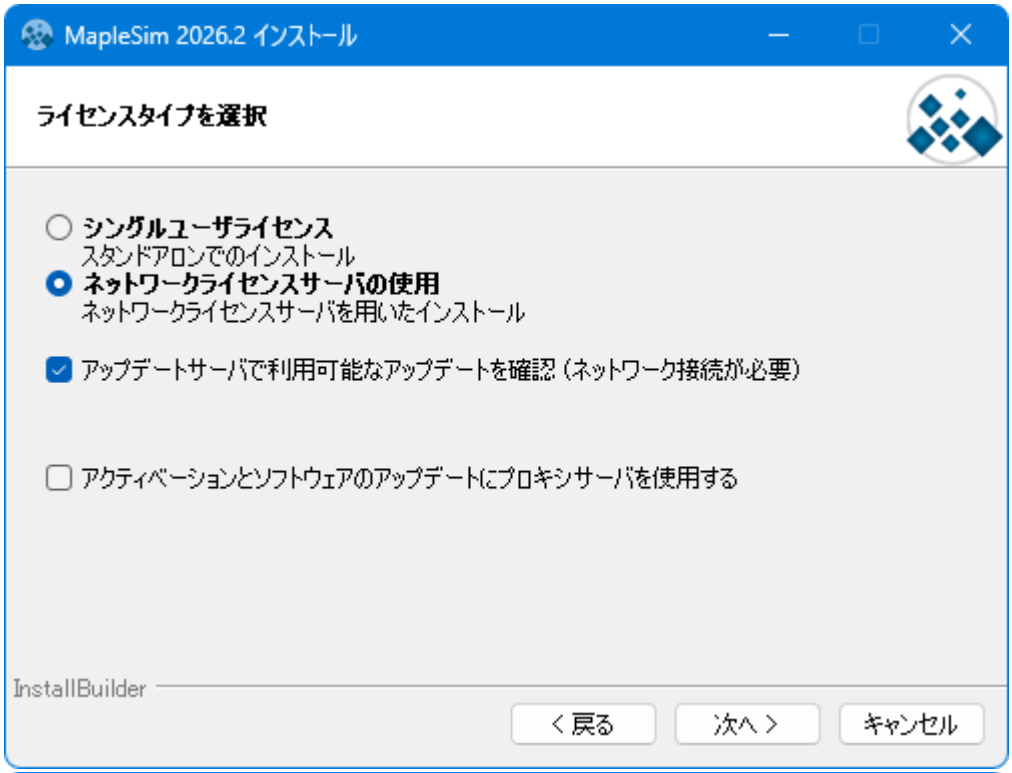


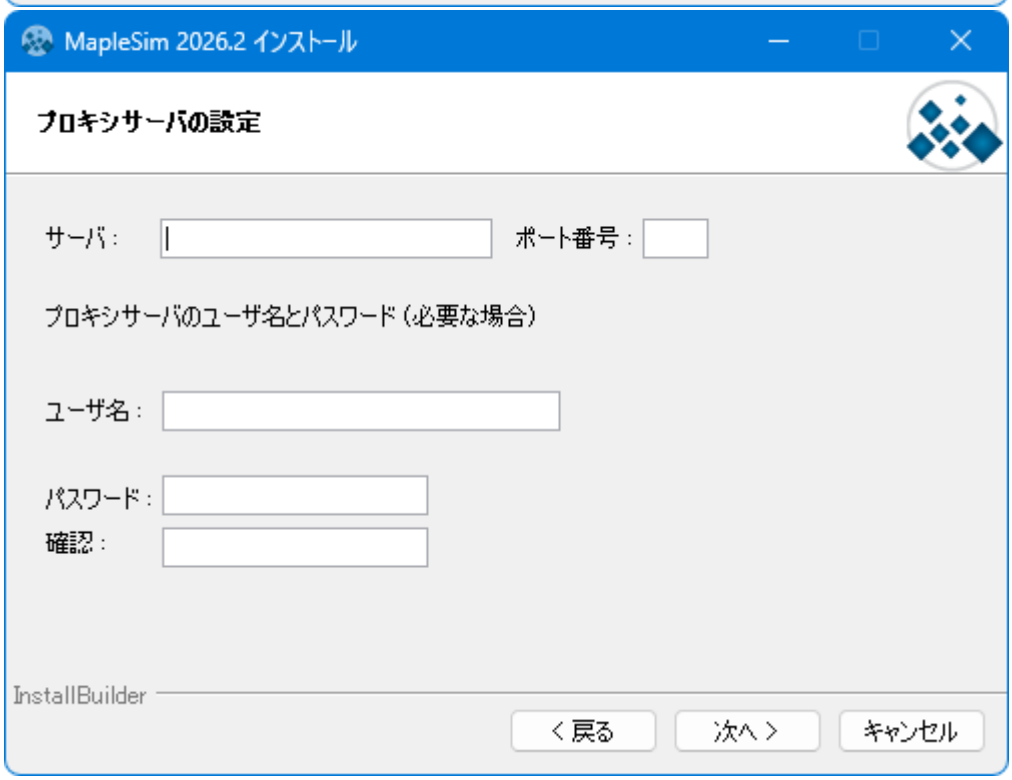
注：

MapleSim 向けの「Maple + MapleSim 一体型インストーラ」では、デフォルトのインストールディレクトリが従来の Maple のインストールディレクトリから変更されています。デフォルトのインストールディレクトリを使用する場合は、インストールパスに関する手順や説明を参照する際、必要に応じてパスを読み替えてください。

Win Linux macOS

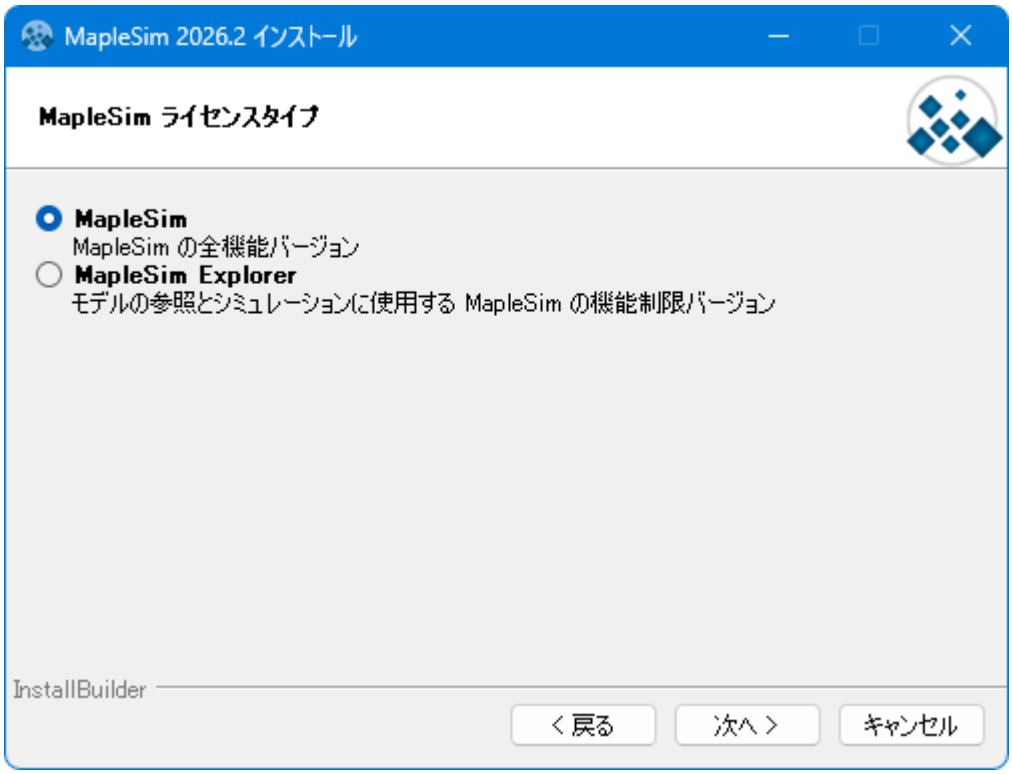
6. インストールするライセンスタイプ［**ネットワークライセンスサーバの使用**］を選択し［次へ］をクリックします。
製品のアップデートを確認する場合は［アップデートサーバで利用可能なアップデートを確認］をチェックします。
［アクティベーションとソフトウェアのアップデートにプロキシサーバを使用する］をチェックした場合は、
プロキシ情報を入力してください。必要項目を入力したら、［次へ］をクリックしてください。





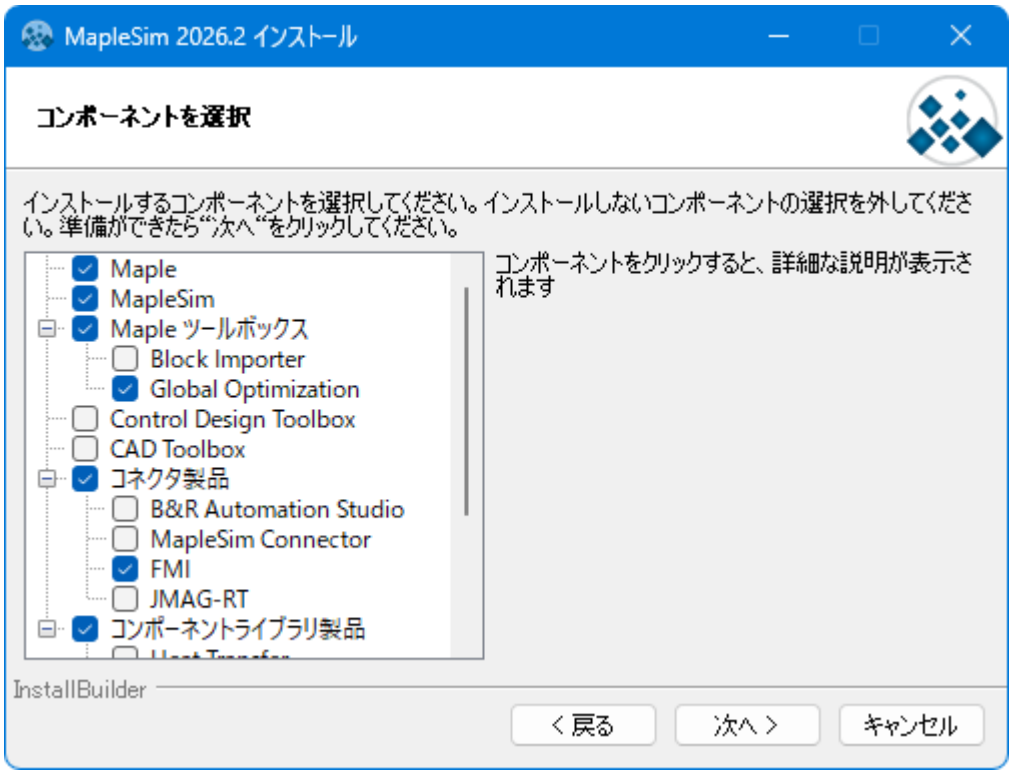
Win Linux macOS

7. MapleSim ライセンスタイプは [**MapleSim**] を選択し [次へ] をクリックしてください。
（MapleSim Explorer のご利用には専用のライセンスが必要です。）



Win Linux macOS

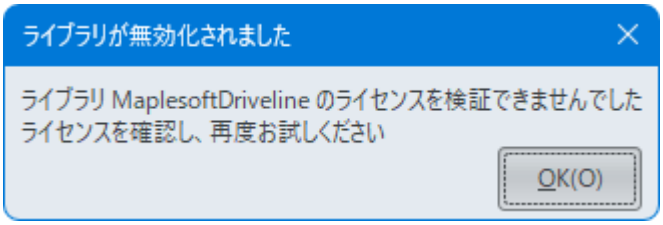
8. インストールする製品名が表示されますので、必要なコンポーネントを選択して、[次へ] をクリックしてください。
※お手持ちのライセンスでどの製品がご利用可能かは、ネットワークライセンスの管理者の方にお問い合わせください。



注意

MapleSim のご利用には Maple のインストールが必要です。Maple にチェックを入れてください。

有効なライセンスをお持ちでないコンポーネント（アドオン製品）をインストールした場合、MapleSim の起動時に次のような、ライブラリが無効化された旨をお知らせする警告ダイアログが表示される場合があります。

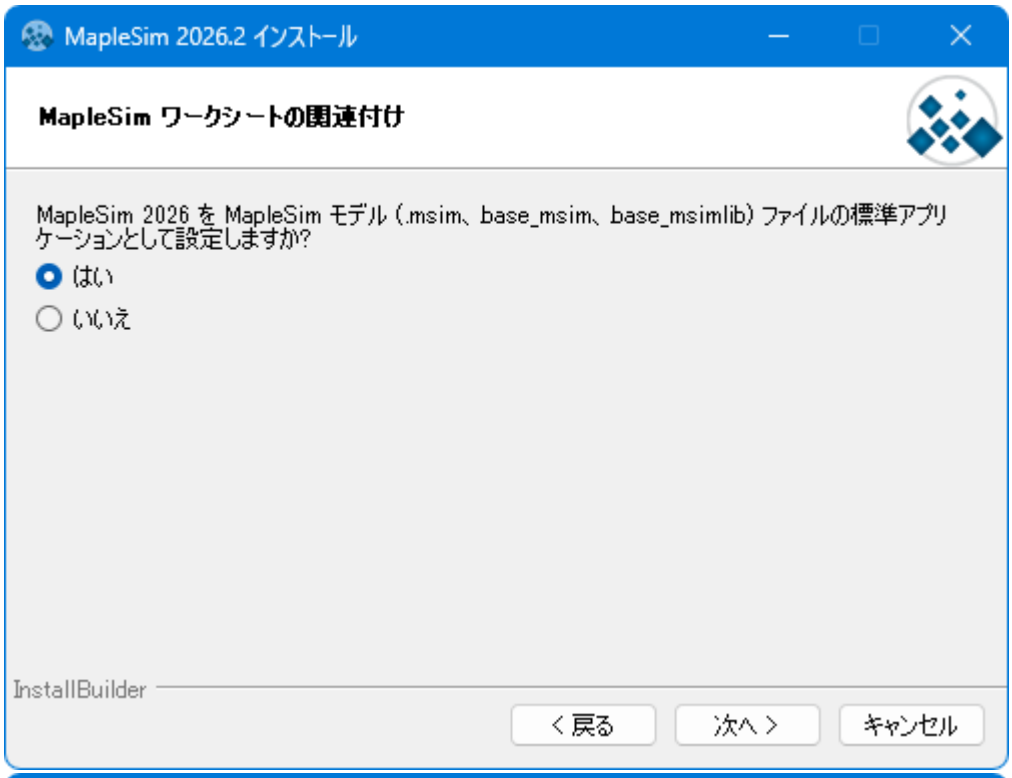


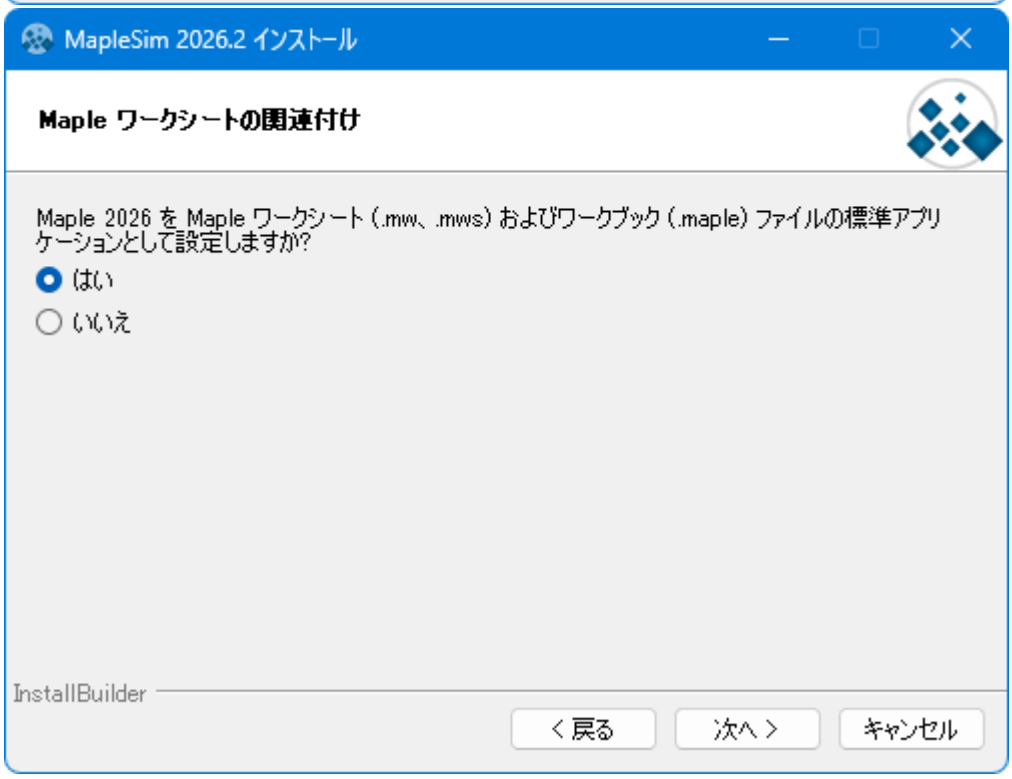
例）Driveline コンポーネントのライセンスが無い場合

不要なコンポーネントは、後述の Section2 を参照し [個別コンポーネント] のアンインストールを行ってください。
（コンポーネントの追加インストールは、インストーラを再度適用することで可能です。）

Win Linux

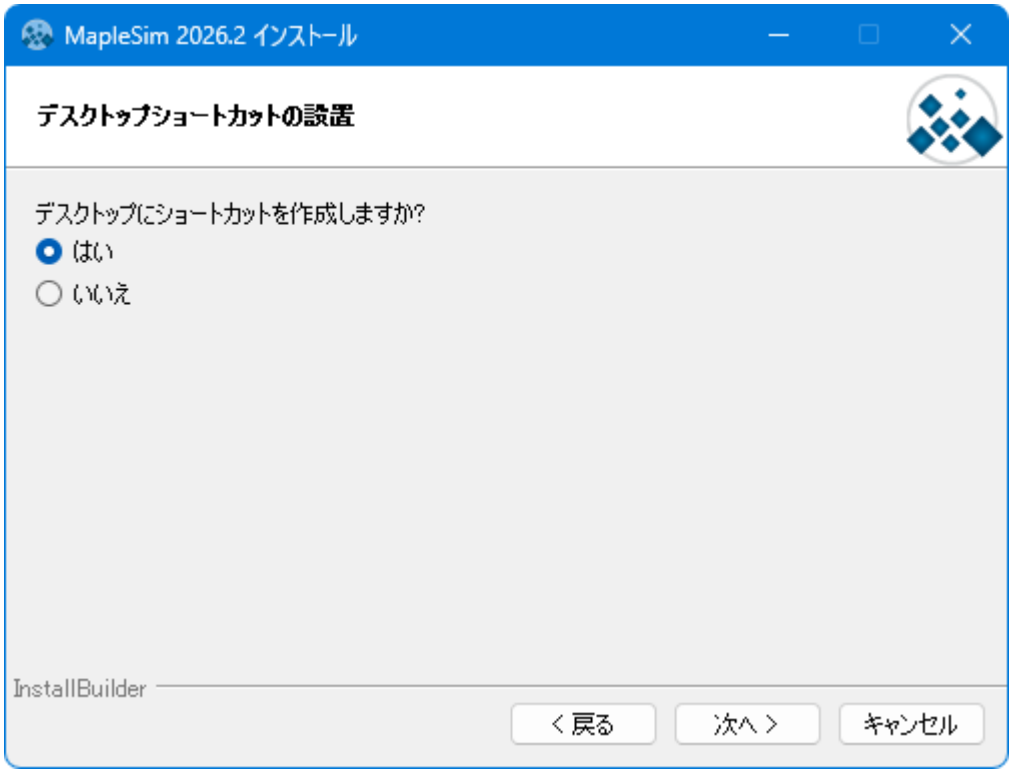
9. MapleSim ワークシートおよび Maple ワークシートの関連付けをするかどうかを選択し、[次へ] をクリックしてください。
（お使いの環境によっては、表示されない可能性もございます。）





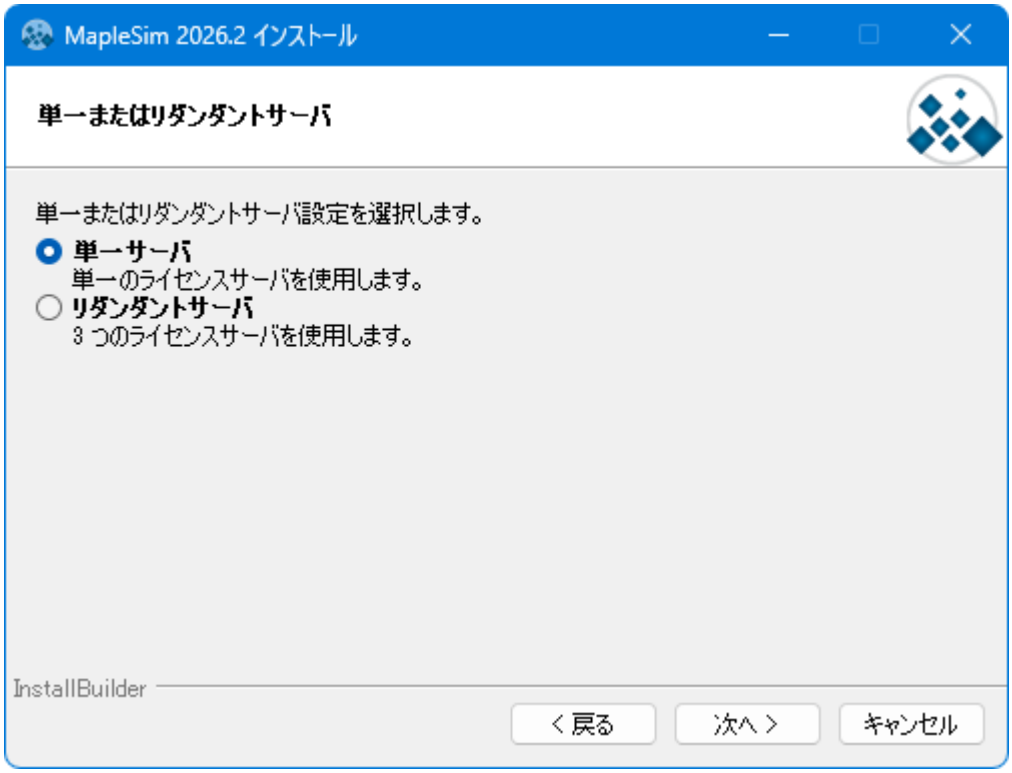
Win Linux

10. デスクトップにショートカットを作成するかどうかを選択し、[次へ] をクリックしてください。



Win Linux macOS

11. ライセンスサーバ側の構成を選択し、[次へ] をクリックしてください。



Win Linux macOS

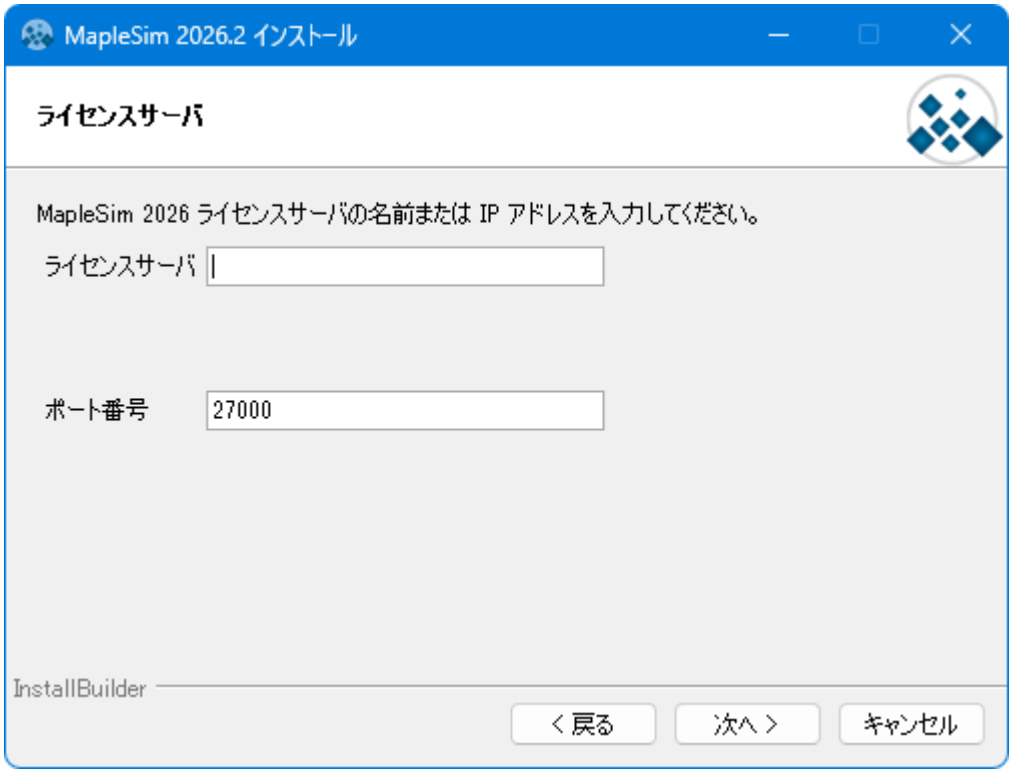
12. [11] で [単一サーバ] を選択した場合は、ライセンスサーバ名とポート番号を入力し、[次へ] をクリックしてください。

ライセンスサーバ名の指定には、サーバマシンの**ホスト名**または **IP アドレス**が使用可能です。

ポート番号は、デフォルトで 27000 になっておりますが、環境に応じて適宜変更可能です。

空いているポート番号をご確認ください。

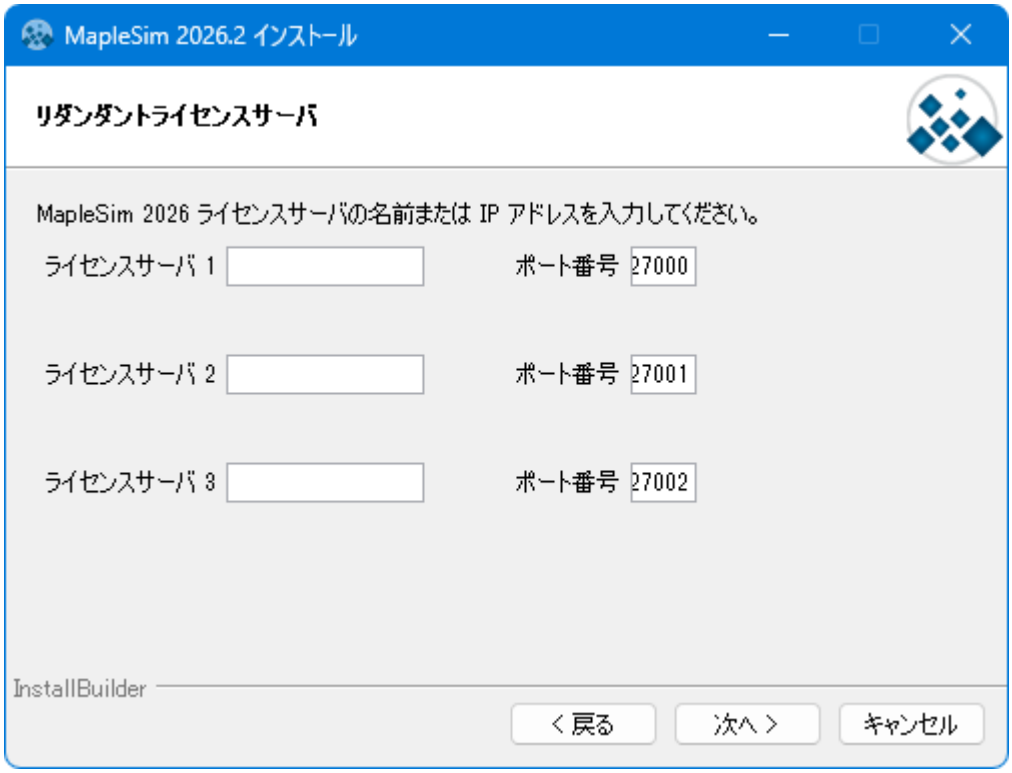
※ライセンスサーバ側のライセンスファイルに記述された情報と一致するように入力してください。



Win Linux macOS

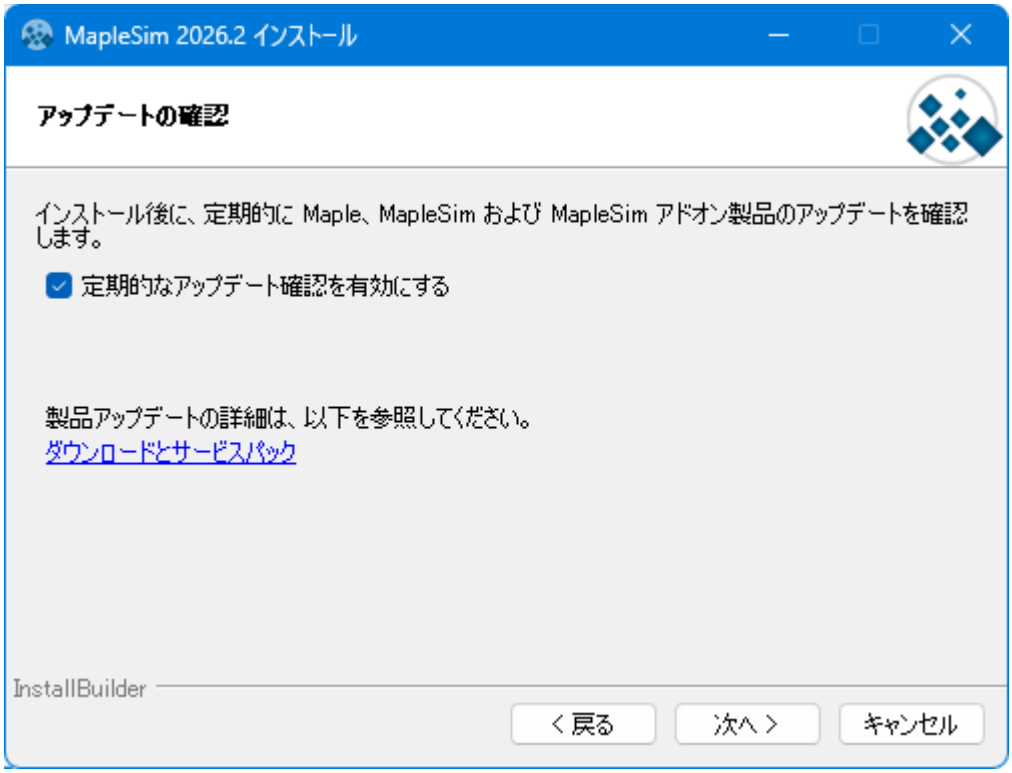
13. [11] で [リダンダントサーバ] を選択した場合は、それぞれのライセンスサーバ名とポート番号を入力し、[次へ] をクリックしてください。ライセンスサーバ名の指定には、サーバマシンの ホスト名 または IP アドレス が使用可能です。
各ポート番号は、デフォルトで 27000、27001、27002 になっておりますが、環境に応じて適宜変更可能です。
空いているポート番号をご確認ください。

※ライセンスサーバ側の記述の情報と一致するように入力してください。



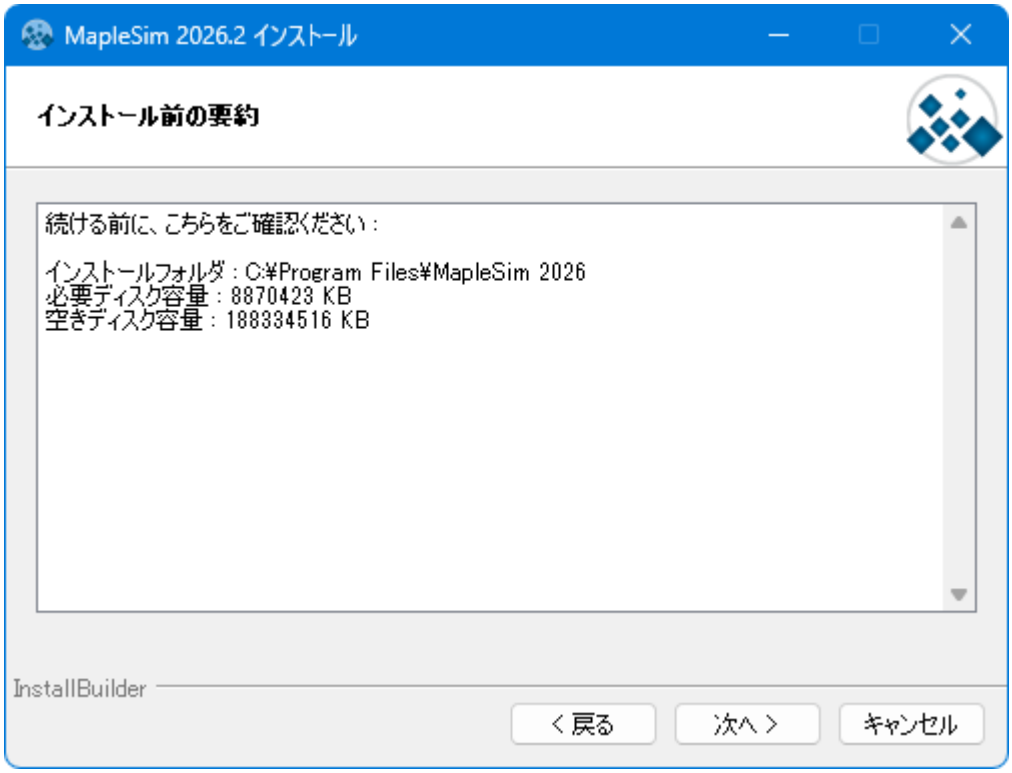
Win Linux macOS

14. インストール後に定期的にアップデートを確認するか選択し、[次へ] をクリックしてください。



Win Linux macOS

15. インストール前の要約を確認し、[次へ] をクリックしてください。インストールがはじまります。



Win Linux macOS

16. セットアップが完了すると次の画面が表示されます。[終了] をクリックしてください。



Win Linux macOS

17. 以上で、ネットワーク版の Maple、MapleSim およびアドオン製品のインストールは完了です。

Win

Windows 64-bit マシンで MapleSim のアドオン製品「**MapleSim FMI Connector**」を使用する場合、FMU のコンパイラには、デフォルトで Maple と共にインストールされる LLVM コンパイラが使用されます。

オプションとして、Microsoft Visual C++ コンパイラを使用することも可能です。使用する場合は、次ページの「外部コンパイラの設定」を行ってください。

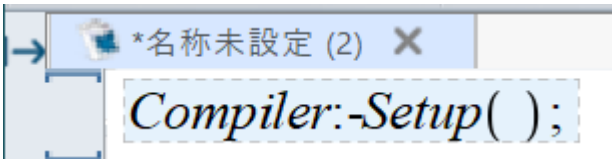
外部コンパイラの設定（任意）

Win

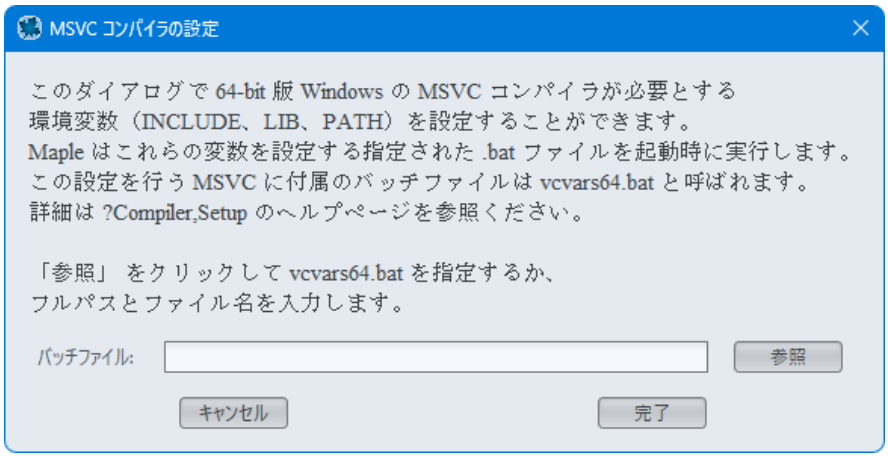
1. **Maple** を「**管理者として実行**」で起動してください。

2. Maple の新規ドキュメント、もしくは新規ワークシートにて、下記コマンドを実行してください。

   Compiler:-Setup( );



3. 表示されるダイアログの [参照] ボタンを押して、コンパイラのバッチファイルを指定します。



   バッチファイル指定後に、[完了] ボタンをクリックしてください。Maple 上に選択したパスが返されます。

バッチファイルの格納場所の例：

Visual Studio 2022（エディション：Community、Professional、Enterprise、BuildTools）：

C:¥Program Files¥Microsoft Visual Studio¥2022¥エディション¥VC¥Auxiliary¥Build¥**vcvars64.bat**

Visual Studio 2019（エディション：Community、Professional、Enterprise、BuildTools）：

C:¥Program Files (x86)¥Microsoft Visual Studio¥2019¥エディション¥VC¥Auxiliary¥Build¥**vcvars64.bat**

Visual Studio Express 2017（32 ビット x86 ネイティブクロスツール、64 ビット x64 コードビルド）：

C:¥Program Files (x86)¥Microsoft Visual Studio¥2017¥WDExpress¥VC¥Auxiliary¥Build¥**vcvarsx86_amd64.bat**

（※Microsoft 社のライセンス規約に準拠してコンパイラのご利用が可能かどうかは、ユーザ様ご自身でご確認ください。）

4. 以上でコンパイラの設定が完了します。Maple を終了してください。

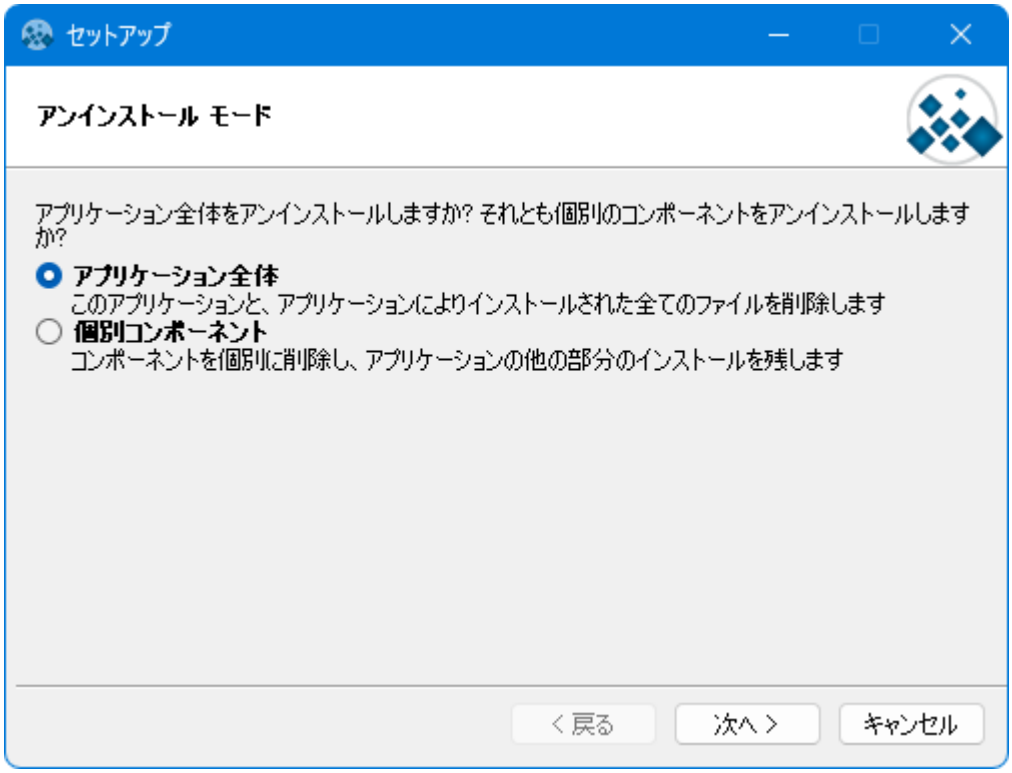
◆ SECTION 2: Maple、MapleSim、アドオン製品のアンインストール

Win Linux macOS

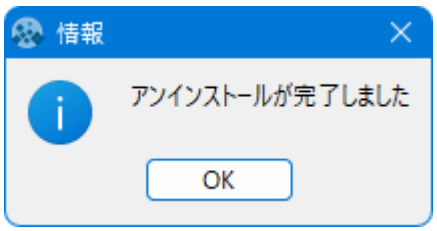
1. MapleSim のインストール先の uninstall フォルダにある uninstall 実行ファイルをダブルクリックし、
   アンインストーラを起動してください。
   インストール先がデフォルトの場合は、以下のファイルが対応します。（**** にはバージョン名が入ります。）

   Windows 版 ・・・ **C:¥Program Files¥MapleSim ****¥uninstall¥uninstall.exe**
   Linux 版 ・・・ **/home/$USERS/maplesim****/uninstall/uninstall.exe**
   （※$USERS には、ユーザ名が入ります。）
   macOS 版 ・・・ **/Library/Frameworks/MapleSim.framework/Versions/****/uninstall/uninstall.app**

2. アンインストーラが起動しましたら、アンインストールモードを選択し、[次へ] をクリックします。
   すべての製品をアンインストールする場合は、[アプリケーション全体] を選択してください。
   製品を個別にアンイストールする場合は、[個別コンポーネント] を選択してください。



3. アンインストールが正常に完了すると、次の画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。



4. 以上でアンインストールが完了します。

※アンインストールを完了させるために、コンピュータの再起動が求められる場合がございます。